

自治体向けアプリケーション ー避難誘導・福祉系アプリケーションー

既に導入したアプリケーションや、汎用的なソフトウェア部品を有機的にマッシュアップして新しいアプリケーションを構築するというサービスコンピューティングのアプローチにより、多方面の分野のアプリケーションを多数産み出しています。昨今関心が高まっている大規模災害向け避難誘導をはじめ、医療・福祉系など自治体で適用可能なアプリケーションを用意しています。もちろん企業向けに展示しているアプリケーションも自治体での業務に利用可能なものがありますので併せてご覧ください。

【避難誘導】ショッピングモール、デパートのなど屋内滞在時に災害が発生したという想定の下、円滑な避難を支援するアプリケーションです。店舗の写真ファイルを用いるだけで臨場感のある2D・3Dの画面を作成でき、VRのように作成コストや時間がかかりません。避難経路の候補をハザード箇所を考慮の上、適切な順で案内します。内蔵センサによる方位合わせ込み、無線アクセス不能時のQRコードによる位置把握機能が特徴です。
【要介護者監視】ベッドにWebカメラを設定し

自動的に顔認識を行うところで要介護者が不明にならないようにするものです。状況変化時の静止画もプッシュ通知するので本当に不明なのか認識ミスなのかを確認できます。
【デイケアセンタ向け】来訪者の薬の処方を事務員が管理するのは大変です。タブレットに投与対象の薬の画像を表示しアラームを出します。薬局とのお薬手帳共有機能もあります。
【その他】手話学習システム、動物病院用電子カルテ、保育園給食レシピ共有アプリケーションなどもあります。

